

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第20週の発生動向

トピックス

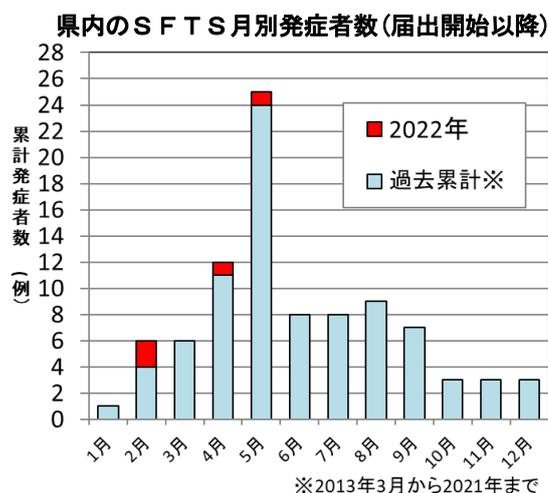
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が延岡保健所管内からあった。患者は80歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計91例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	37	22	5

新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,198例あり、2022年の累積報告数は43,899例となった。



全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核3例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	女	肺結核	発熱
		延岡	80歳代	男	結核性胸膜炎	痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	50歳代	女	—	なし、O血清型不明(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	80歳代	男	—	発熱、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	40歳代	男	AIDS	発熱、呼吸苦、体重減少 指標疾患：ニューモシステス肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、脱毛症

新型インフルエンザ等感染症 (20週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 3,198例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	1,423例	258	327	134	217	213	91	64	51	43	22	3	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	619例	153	113	93	96	82	29	23	16	10	4	-	
延岡	294例	65	89	22	35	38	18	12	9	2	4	-	
日南	120例	14	16	17	20	17	11	6	6	8	5	-	
小林	127例	12	21	11	11	24	8	12	13	12	3	-	
高鍋	236例	38	54	21	30	22	12	17	10	17	15	-	
高千穂	13例	-	6	-	-	3	1	2	-	1	-	-	
日向	190例	53	49	8	22	37	1	10	7	2	-	1	
中央	158例	20	66	4	15	21	10	8	7	4	2	1	
県外	18例	3	3	4	2	1	1	1	3	-	-	-	

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は304人(定点あたり8.4)で、前週比135%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

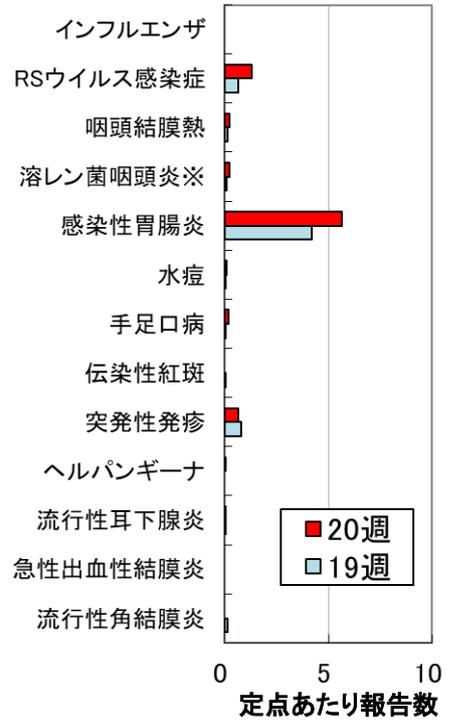
【RSウイルス感染症】

報告数は48人(1.3)で、前週比209%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.67)の約2.0倍であった。高鍋(4.8)、延岡(3.5)、日向(3.3)、宮崎市(0.20)保健所からの報告で、年齢群別は6ヵ月から3歳が占めた。

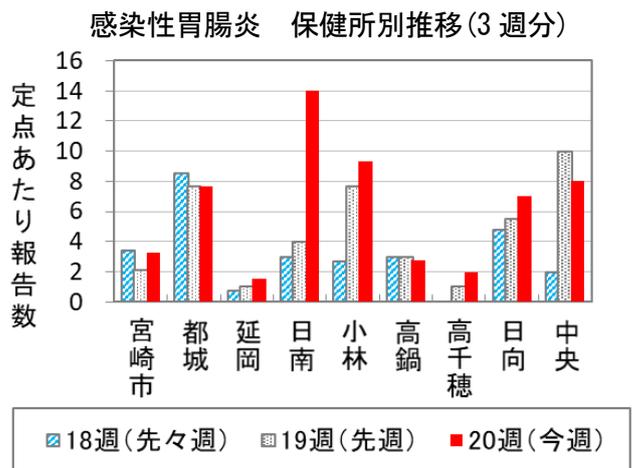
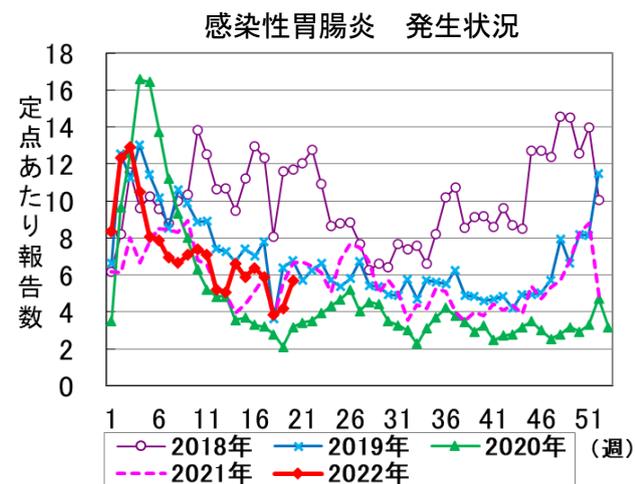
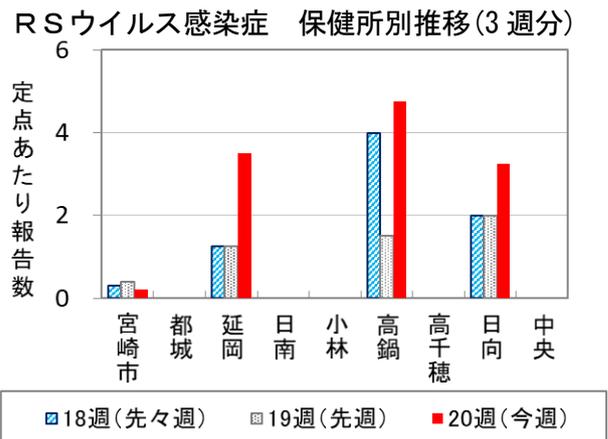
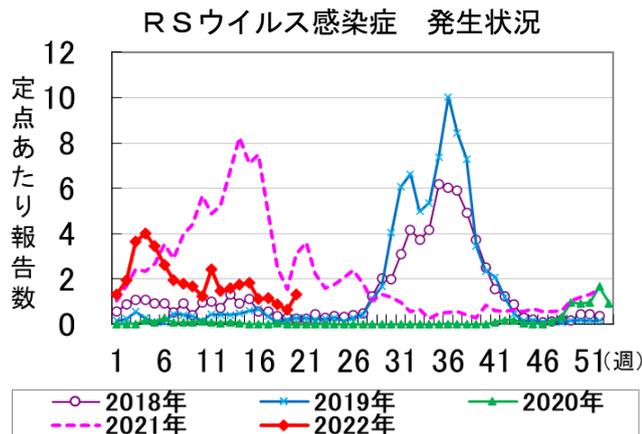
【感染性胃腸炎】

報告数は204人(5.7)で、前週比135%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(7.2)の約0.8倍であった。日南(14.0)、小林(9.3)、中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年5月23日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス なし

📊 全国 2022 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	241 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	56 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	8 例
	レジオネラ症	34 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クリプトスポリジウム症	2 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	141 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	8 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週（祝祭日の休診含む）比 147%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

咽頭結膜熱の報告数は 553 人 (0.18) で前週比 164%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.37) の約 0.5 倍であった。佐賀県 (0.78)、鹿児島県 (0.70)、新潟県 (0.49) からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 13,021 人 (4.2) で前週比 157%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (4.3) とほぼ同率であった。大分県 (8.2)、鹿児島県 (7.7)、富山県 (6.8) からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第20週(05月16日～05月22日)

疾病名	第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	23	48	2		14		19		13	
	定点当り	0.64	1.33	0.20	0.00	3.50	0.00	4.75	0.00	3.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	8	1	1	6					
	定点当り	0.17	0.22	0.10	0.17	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	4	8	1			7				
	定点当り	0.11	0.22	0.10	0.00	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	151	204	33	46	6	42	28	11	2	28
	定点当り	4.19	5.67	3.30	7.67	1.50	14.00	9.33	2.75	2.00	7.00
水痘	報告数	2	4	1	1	1	1				
	定点当り	0.06	0.11	0.10	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	7	1	4					1	
	定点当り	0.06	0.19	0.10	0.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	23	4	3	5	1	2	4		3
	定点当り	0.81	0.64	0.40	0.50	1.25	0.33	0.67	1.00	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数		1				1				
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1		1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1									
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～20週)

2類感染症	結核	42例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例(1)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例(1)
	水痘(入院例)	2例	梅毒	25例(1)
	破傷風	1例	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	43899例(3198)		

()内は今週届出分、再掲